

『私たちの生活を支える仕組み』

町田市立薬師中学校 3学年 田中 凜香

中学校二年生の夏、私の家族は父以外の、私、妹、母の三人が新型コロナウイルスにかかってしまった。陽性だということが分かってからは、父も濃厚接触者となり、誰も外出することができなかつた。だから、当然食料を買いに行くこともできず、「これから約一週間の間、ちゃんと生活していられるのだろうか」と私はとても不安になつた。そんな時、東京都から大きなダンボール箱が三箱送られてきた。開けてみると、中には家族四人分の食料がたくさん詰まっていた。

「どうしてこんなにたくさんの食料が送られてきたの？」と母に聞くと、

「これは自宅療養している人に、東京都が支援物資として送ってくれたんだよ。」

と教えてくれた。どういう仕組みで成り立っているのか気になり調べてみると、これは税金によってできているということを知つた。私はとても驚いた。税という単語を聞くと、「消費税の引き上げ」というニュースがテレビで流れていたり、あまりいいイメージを持っていなかったからだ。しかし、この出来事で私の税に対する考えが大きく変わった。さらに詳しく税について調べてみると、財務省のホームページには、税は「社会の会費」だと書かれていた。これは、一人一人が税金をきちんと納めることで、誰もが暮らしやすい社会に繋がる

ということを意味しているらしい。税金は「公平・中立・簡素」を基本としたルールのもとで成り立っており、国が、私たちのよりよい生活のために考えてくれた仕組みなのだ。しかし、私たちの支えになっている一方で、消費税の引き上げをすることは、買い物する際の払う金額も高くなってしまふし、限られたお小遣いの中で買い物しなくてはならない私も、大賛成！……というわけではない。だが、私たちが消費税を払うことで、今回の私たち家族のように困っている人たちへ、少しでも援助になっていると思うと、なんだか心が温かくなり、いざという時の助けになってくれる、税金を納めることの大切さが少し分かつた気がした。

税金は、私たちの気づかないところで、生活を陰から支えてくれている重要なもので、まさに、縁の下の力持ちだ。しかしながら、税を払うことが重荷となつて生活が苦しくなり、税に対して悪い印象を持っている人が多くいるというのも事実だ。だから、私は税の仕組みや使われ方の知識が少しでも広がってほしいと思う。ただ単に、払わなくてはいけないから、と義務感で税金を払うのではなく、まずは税について知り、財務省が述べていた通り、「社会の会費」ということを多くの人が理解をもつて納めることで、よりよい豊かな社会になっていくと思う。